分野別ビジョン①

に努め、 可能な循環型社会の構築を

目指します」

分野別ビジョン2

・地域特性を生かして、地球温暖化対策を推進します」

この分野では、

率の向上を図るとともに、 ごみの減量化やリサイクル 資源を有効活用するため この分野では、 ごみの適正処理による 限りある す は多額のお金がかかりま て処理されますが、 ごみは、焼却するか埋め立 占めるリサイクルできない あり、このうち、 約 87 % を これに

投棄対策」の視点で各施策 使用・リサイクル」「不法は、「ごみの発生抑制」「再 不法投棄への対策を強化し 具体的な取り 組みとして

7

達しないので、取り組みのもに、このままでは目標に 強化が必要です 量」「リサイクル率」 一人1日当たりのごみ排環境指標の評価では、「町 成30年度の町全体のご と ぜひ、

み排出量は左表のとおりで

排出量

888

(約13%)

5,700^h

(約87%)

6,588

民一

み重ねて を減らす努力をコツコツ 皆さ いくことが必要で

変ですが、 約280 ごみを減量すると、 とになります 毎日続けていくことは大 -個が約50グラム) 〜のごみが減るこ 人がごみ 年間で ず

を進めていきます。

50グラ ム(生

ごみの 人が毎日 量を減らす例と

 \triangle Δ

> 化対策を進めて 量削減を目指

具体的な取り組みとして

「地球温暖化防止対策」

可能エネルギ

」 「気候変動への適能エネルギーの利

す。

【環境指標の評価】								
環境指標	計画策定時(平成29年度)	実 績 (平成30年度)	計画目標値(令和9年度)	評				
町民一人 1 日当たりの ごみ排出量	1,124 g	1,164 g	935 g	4				
リサイクル率	12.1%	13.5%	21.0%					

用促進」 応策」

【平成30年度町全体のごみ排出量】

区分

粗大、不燃、ビン、ペットボトル、プラ・

紙製容器包装、紙パック、古紙類など。

●可燃ごみ(食品などの生ごみを含む。)

●最終処分場に埋め立てられる処理残渣

総排出量

●資源ごみ

まのご協力を お願いいたし ・町民一人当たりのごみ排出量 1,124g 935g 21.0% 13.5% 12.1% 計画策定時(平成29年度) 実績(平成30年度) 計画目標(令和9年度) ■ごみ排出量 ◆リサイクル率

「理技化価の部件】

【現現拍標の評価】								
環境指標	計画策定時(平成29年度)	実 績 (平成30年度)	計画目標値(令和9年度)	評価				
役場における温室効果 ガス排出量	実行計画未策定	13.2%削減	26%削減	0				
再生可能エネルギー利 用設備数 (累計)	24 箇所	24 箇所	35 箇所	Δ				
住宅用太陽光発電シス テム補助件数(累計)	92 件	93 件	150 件	Δ				

1	エネルギー利用設備 場光発電システム補	
		150件
92件	93件	
0211	0011	35施設
24施設	24施設	
- 760	- 10000	
計画策定時(平成29年度)	実績(平成30年度)	計画目標(令和9年度)
	能エネルギー利用設備。 太陽光発電システム補I	

オマスなどの地域特性を生 の導入と温室効果ガス排出 した再生可能エネルギ いきます。 木質バイ 地球温暖 組みの強化が必要となり 陽光発電システム補助件数 目標に達しないので、 (累計)」で、このままでは 取

か

ギー んで マスエネルギ これは、 -の中でも、 能エネ

システ 22年度をピ また、 ム補助件数は、 住宅

めていきます

の視点で各施策を進

にあります これは、 太陽光発電設備

生可能エネルギ

環境指標の評価では、「再

(累計)」

と

「住宅用」

ない 労件数は、平成に用太陽光発電 クに減少傾向

状況があり イン沢がありまーの導入が進 木質バイオ

•

買取価格の減少が原因と考る補助額の削減や固定電力の価格が下がったことによ 業の 向を踏まえながら、 えられるので、 用太陽光発電設備市場の動 検討を進めていきま 今後は住宅 補助事

【問合せ】

環境水道課 環境衛生係

電話0241-62-6140

/==/**= △ □ → 1**

【評価の見方】								
評価	0	Δ	×	_				
評価基準	このまま推移すると 目標に到達する	このままでは目標に達しないので、 取り組みの強化が必要	基本方針の再検討や 新たな取り組みが必要	評価が困難				

分野別ビジョン⑤

山湿原の面積維持」 環境指標の評価では、

がこ

働きかけをする必要があり 的な対策を講じるよう強く

環境指標

駒止湿原案内人の会

尾瀬ガイド協会

湿原

面積

環境指標の評価では、

駒止湿原

宮床湿原

黒岩湿原

保全対策」「調査・研究」 水道などの整備」「湧水の

の視点で各施策を進めてい

実施して

いきます

は、

「自然資源の保全対策」

迫っている状況が見ら

生物の保全と保護」

体的な取り組みとして

模が拡大し、

る状況が見られまし、田代山湿原に い、田代山湿原に

実 績

(平成 30 年度)

約 148%

約 23%

約 54%

26 人

12人

の負荷の低減を図っていき ど排水処理に努め、環境へ 道や合併処理浄化槽設置な

する合併処理浄化槽の整

-が大きく

、影響するため

4~ク

約

ます

具体的な取り組みとして

【環境指標の評価】

に継承していきます の自然資源を保護し、 然記念物の駒止湿原や尾瀬

この分野では、

国指定天

ので、取り組みの強化が必のままでは目標に達しない

計画目標值

湿原面積を維持

20人

施するとともに、

公共下

ので、

取り組みの強化が必

のままでは目標に達し

な

要となりました。

これは、

主に個人で設置

の監視・調査を継続的に実

この分野では、

河川など

水処理人口

「・普及率」

がこ

計画目標値

(令和9年度) 12,500 人

継続した検 香の実施と環

境基準を満た

継続した検

質基準を満た

査の実施と水 ◎

88.5%

評価

0

0

 \bigcirc \bigcirc 0

0

0

20~30人を維持 ◎

国立公園の田代山湿原など

要となりました。

後世

これは、

昨年の台風19号

「自然資源を保護し、後世に継承します」分野別ビジョン③

評価

0

0

分野別ビジョン④

視点で各施策を進めていま 査・研究」「景観形成」 「外来生物・鳥獣対策」

調

国や県に対しては、

被害

計画策定時

(平成 29 年度)

約 148%

約 23%

約 54%

29 人

は、

「水辺の環境整備」「下

向けた啓 及促進に 今後も普

発活動を

4ペク

約

0)

状況など早急な対応を要望

していますが、今後も抜本

森林資源の

めの森林整備を進め、 産基盤の整備に努めるとと この分野では、森林の生 共生と森林利 地球温暖化防止のた 何用による の強化が必要となりました。 有効活用を図ります」 って従来の化石燃料ボイラ と比較 設備導入にあた イニシャルコ

もに、

数」で、このままでよ刑票質資源利用ボイラー設置 討を進めて め さ 置数を増加 せるた 今後も設 導入検

0)

組み

各施策を進めています。 林の多目的利用」の視点で 経済性を確保していきます。 環境指標の評価では、「木 具体的な取り組みとして 「森林の保全対策」「森 体制など需給バランスなど燃料チップなどの安定供給 が課題になっています

との

			E-SK-SCIETING SETTING								
計画策定時 (平成29年度)	実 績 (平成30年度)	計画目標値(令和9年度)	評価								
22,166°-2	23,584 [^] ⁄ _{۶-ñ}	現状維持	0								
847 [^] ⁄ _{2-n}	847 [^] / ₉₋₁	現状維持	0								
2 施設	2施設	10 施設	\triangle								
7人	14人	10人	0								
20人	20人	30人	0								
0回/年	0回/年	2回/年	_								
	(平成29年度) 22,166分 847分 2 施設 7 人 20 人	(平成 29 年度) (平成 30 年度) 22,166分 23,584分 847分 847分 2 施設 2 施設 7 人 14 人 20 人 20 人	(平成29年度) (平成30年度) (令和9年度) 22,166% 23,584% 現状維持 847% 847% 現状維持 2施設 2施設 10施設 7人 14人 10人 20人 30人								

【環境指標の評価】

響に対する、 具体的な取り組みとして

役場公用 策」「化学物質対策」 点で各施策を進めています。 環境指標の評価では、「町 「放射線対策」「公害対 車における低公害 の視

がこのままで

学物質や公害などの健康影 普及や情報提供に努めてい た放射線対策の推進と、 正しい 知識の

きます 害車の 備などが課題です 政面や電気自動車の充電設 も新規車両購入の際に低公 これは、 導 入検討を進めて 導 人コストの財

【環境指標の評価】										
環境指標	計画策定時(平成29年度)	実 績 (平成30年度)	計画目標値(令和9年度)	評価						
空間線量の定期モニタリング (町内 110 箇所)	1回/月	1回/月	現状維持	0						
町役場公用車における低公害 車導入台数	10台	10台	15台	Δ						
公共交通機関における低公害 車導入台数	0台	0台	5台	_						
公害苦情の件数	3 件	1件	減少させる	0						
ダイオキシン類環境基準 (大気、河川水質、地下水、土壌)	100%	100%	環境基準を 満たす	0						

放射線対策を推進し、 健康で安心な生活環境をつくります」

分野別ビジョン

心なまちづくりを目的とし この分野では、 安全・安 ました。

は目標に達しない り組みの強化が必要となり ので、

【環境指標の評価】						(±	環境指標の評	価】	
環境指標	計画策定時(平成29年度)	実 績 (平成30年度)	計画目標値(令和9年度)	評価		環境指標	計画策定時 (平成29年度)	実 績 (平成30年度)	
空間線量の定期モニタリング 町内 110 箇所)	1回/月	1回/月	現状維持	0	汚水処理 <i>)</i> 汚水処理 <i>)</i>	·	12,375 人 77.8%	12,126 人 78.2%	
丁役場公用車における低公害 車導入台数	10台	10台	15台	Δ	主要な河 川の環境	阿賀川(田島地域)舘岩川(舘岩地域)	生活環境の 環境基準で定	保全に関する められている	;
公共交通機関における低公害 車導入台数	0台	0台	5台	_	基準達成 項目数	伊南川(伊南地域)伊南川(南郷地域)		て、基準を満	1
公害苦情の件数	3 件	1 件	減少させる	0	主要な湧	嶽 清 水(田島地域)	水道注に其	づく水質基準	r
ダイオキシン類環境基準 大気、河川水質、地下水、土壌)	100%	100%	環境基準を 満たす	0	水の水質基準達成	水引の清水(舘岩地域) 舞台の清水(伊南地域)	(飲用)で定る	められているいて、基準を	1
					項目数	高 清 水(南郷地域)	満たしている。		,

取

広報みなみあいづ 2020.3